

今、起きていることから学ぶ 将来必要なサイバー犯罪被害防止のための知識

インターネットバンキングの不正送金被害



令和5年上半期の被害額 約30億円

※ネット銀行のID・パスワードが盗まれ、預金が他人の口座に送金されてしまうこと。

警察庁：フィッシングによるものとみられるインターネットバンキングに係る不正送金被害の急増について（注意喚起）より

あなたは、これを見て
こう考えていませんか？



まだ銀行口座を持っていないし、
今の自分には関係ないことだなあ。

関係あります

被害防止対策は
今から使える知識

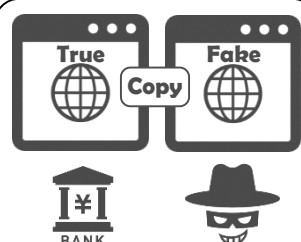


被害の多くは、フィッシングによるものとみられます。
皆さんが利用するSNSやゲームなどのサービスで被害を受けることも。
今から対策をしておくことで、将来のサイバー犯罪被害防止につながります。

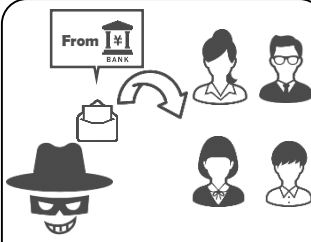
フィッシングの手口と被害防止について学びましょう

フィッシングとは

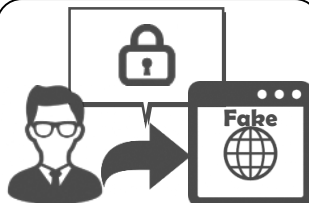
実在する企業のふりをして、IDやパスワードなどの個人情報を盗むこと。



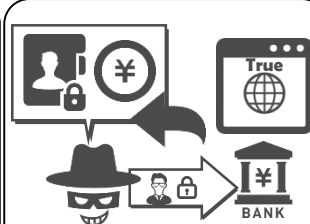
① 犯人は、あらかじめ
実在する企業の公式
サイトとそっくりな
偽サイトを作る。



② 偽サイトにつながる
リンク（URL）を
記載したメールを
様々な人にばらまく。



③ メールにだまされた
人が、IDやパス
ワードなどの情報を
偽サイトに入力する。



④ だまされた人の情報
を使ってアカウント
にアクセスし、個人
情報やお金を盗む。

偽サイトを開かないことが一番だけど、どのメールがフィッシングかわからない。
そこで、サービスへのログインの習慣で被害を防止する！

日頃から、IDやパスワードを入力するサービスには
公式アプリや公式サイト(ブックマーク)からログインする習慣
をつけることで、怪しいメールが来ても偽サイトを開くことを防止できます。

怪しいメールが来たら、保護者や警察に相談しましょう。